

## 食のフォーラム「和菓子と西洋菓子の出会い」基調講演

北九州市立大学文学部教授

八百啓介

### 問題提起

#### 1. 菓子文化の十字路としての北部九州

古代…朝鮮半島（中国大陸）の影響

中世…禅宗の食文化（饅頭・うどん・羊羹）

近世…「南蛮」・キリスト教の食文化（カステラなどの鶏卵食文化）



世界史的にも菓子文化の先進地帯となった原因は外来食文化が重層的に蓄積されたことによる

#### 2. 肥前佐賀の菓子文化の背景

##### I 地理的条件

- ・朝鮮半島への窓口であるとともに砂糖の輸入港である長崎に隣接
- ・菓子原料である良質の米麦の供給地である佐賀平野

##### II 歴史的條件

- ・中世から近世の転換期における竜造寺家臣団の郷土化と転業
- ・佐賀の乱後の旧士族（郷土層）の自立

##### III 人的条件

- ・佐賀商人に見られるプロテスタンティズム的勤勉性と情報収集力



森永太郎を生んだ伊万里の商人文化・菓子文化とはどのようなものであったのか？

#### 3. 近世の砂糖文化と長崎街道

羊羹…鎌倉時代に禅宗の間食（点心）として伝わる

室町時代 「砂糖羊羹」（『庭訓往来』）の登場

江戸時代の砂糖輸入量 ポルトガル時代 年間 150kg

鎖国時代 唐蘭船合わせて年間 2000～3000 トン

長崎街道の流通量 輸入量の 5～10%程度

役人への贈り砂糖 100～200 トン

遊女への贈り砂糖 約 50 トン

荷役人夫への盈物砂糖 約 50 トン

長崎警備を負担する佐賀藩・福岡藩の購入量 不明

#### 佐賀領内での砂糖の流通

- 安永 2 年 (1773) 塩田町にて唐物商売が許可 され、砂糖座・菓種座が置かれる (『蓮池藩請役所日記』)
- 安永 5 年 (1776) 蓮池本町に舶来品売買商を置く (『蓮池藩日誌』)
- 明和 7 年 (1770) 神埼町にオランダ舶来品商売商を置く (『蓮池藩日誌』)
- 安政年間 塩田町町絵図 菓子屋 1 軒に対して反物・荒物・小間物・蘇木・砂糖・菓種など輸入品 8 軒

#### 4. 日本人と西洋菓子との出会い

「南蛮菓子」から「紅毛菓子」へ  
南蛮菓子…砂糖・鶏卵食文化



「南蛮」から「阿蘭陀」へどう変わったのか？そして江戸時代の西洋菓子の受容はその後の明治期の洋菓子の受容にどのような影響を与えたのか？

#### 5. 佐賀菓子商人の発展

##### (1) 竜造寺体制から鍋島体制へ

- ・郷土層の出現と転業…原田氏 (千鳥饅頭) 村岡氏 (小城羊羹) など
- ・長崎街道の中間点という利点  
抜け荷 (非領主的流通) の主役？
- ・伊万里焼の行商…原田氏・森永太郎

##### (2) 資本の蓄積と藩域外への進出

中央で起業した人々…森永太郎・江崎利一・森平太郎  
福岡県域 (炭鉱・軍隊・製鐵所) に進出した人々…村岡安吉・原田政雄・



近代そして今日の経済や社会において菓子はどのような役割を果たすことができるのか？

ディスカッションにおいては、1～3における森永太郎を生んだ歴史的背景をさらに掘り下げ、4・5を踏まえて森永太郎の歴史的意義を考えていただきたい。